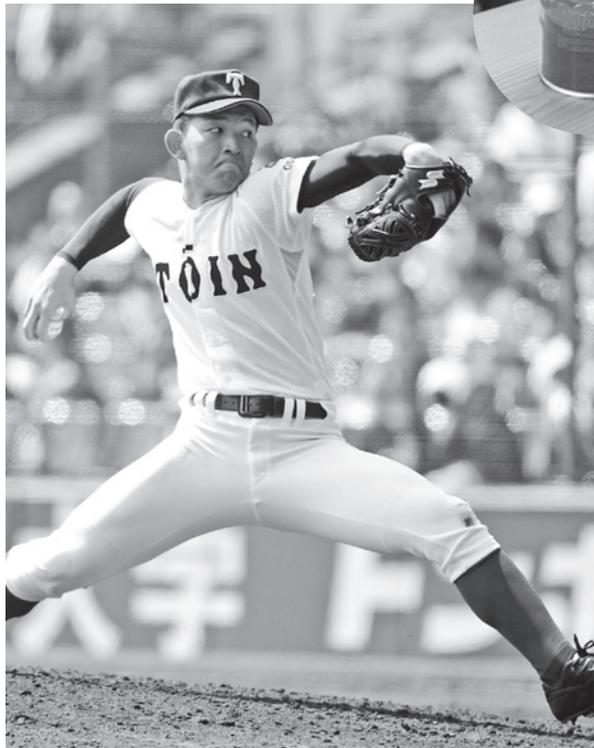




▶昨年の夏の甲子園で力投を見せる柿木蓮選手(2018年8月)

(佐賀新聞社提供)



▲2018年の夏の大会で優勝し持ち帰った甲子園の土

▶佐賀東松ボーイズ時代の柿木蓮選手(下段中央)と多久市出身のチームメイト(2015年7月)



▶世界選抜報告に表敬訪問をした中学3年生の柿木蓮選手(2015年7月)



多久の子どもたちへ

僕は「うまくなりたい」「強くなりたい」という気持ちを持ち続け、練習に励んできました。野球は練習した分うまくなり、自信になるのでみんなも頑張ってください!



という自己最速も記録。

「マウンドで故郷多久のみなさんのエールを感じ、とても心強かったです。優勝が決まった瞬間、これまで応援してくれた両親やお世話になった先輩たちの顔が浮かびました。」

甲子園春夏連覇、福井県で行われた国民体育大会1位の3冠達成という有終の美で高校野球を締めくくりました。



プロとして新たな野球人生を踏み出す

プロ志望届を提出し、プロ野球ドラフト会議をワクワクしながら迎えたという柿木蓮選手。北海道日本ハムファイターズ

から5位指名を受け、プロ野球選手としての道を拓きました。「野球に集中できる環境が

整っている日本ハムでなら、もっと強くなれると感じました。僕は気持ちで投げるタイプなので、強い球を投げる投手になりたいですね。ストリー

トが速くてキレが良ければ、相乗効果で変化球も良くなります。スピードもそうですが、

球質に磨きをかけていきたいです」と更なる成長を誓います。



故郷・多久への思い

毎年、家族と多久聖廟へ初詣に行くという柿木蓮選手は、「多久に帰ってくるとリラックスできます。今の自分があるのは、毎日野球ができる環境、仲間、応援してくれる人がいたからです。そんな多久は大切な場所です。多久のみなさんからたくさんの応援をいただいているので、カッコ悪いところは見せられないと思います」と和らいだ表情を見せてくれました。

「1年目から活躍できるように、今まで以上に頑張りますので、応援してもらえると嬉しいです。多久のみなさんに元気を与えられるような選手になって恩返ししたいです」と力強く語ってくれました。

新たな舞台で頑張る、北海道日本ハムファイターズ柿木蓮選手”を市民のみなさんで応援しましょう!